

幼保連携型認定こども園 **西神戸 YMCA 保育園 10月えんだより**

10月聖句：「ひとりよりもふたりが良い。」

＜コヘレトの言葉 第4章9節＞

暦は10月になりますが、長い夏が続いているかのような9月でした。子ども達も例年になく、外に出る機会が少なかった今年は、より一層、涼しくなったら思い切り外に出て、自由に遊びたいですね。そんな遊びも一人よりも二人、二人よりも三人いた方が遊びのアイデアが増えて、色んな遊びへと展開していきます。友達同士の遊びは、喜怒哀楽の全てが、子ども達にとって、心躍る体験であり、その一つ一つの体験で感じるからこそ学び合いになっていきます。そんな瞬間を私達も体験してきたのではないのでしょうか。

学生時代に、無人島で生活をするトレーニングがありました。夜も明けない早朝に、瀬戸内の海を2艇のカヌーで海岸線沿いを漕いでいき、5キロ離れた島に向かう途中で、1艇が流されてしまいました。潮の流れは凄まじく、わずか1分程で伴走していたカヌーは目視できない程沖に流されたのです。海上で「もう駄目だ」と思った瞬間を今でも忘れません。どうすればいいのか？このまま何処にいくのだろうか？と思った時に、通りかかった小船から「もう1艇も流されろ！」との声をきき、唾然としたのを覚えています。恐怖の中、海岸線を漕いでいたカヌーは沖に流され、2艇が共に沖合で再会した時の喜びようは今でも忘れません。

時代の進化で一人と多数がつながることを可能にするインターネットやスマートフォンの普及はストレスフリーで便利さが増大しますが、共に歩み、共に居ることを肌で感じて安心することの経験は、どんどん減少し、孤独や孤立に苛まれている人も少なくないのではないのでしょうか。

聖書には、神様が人間をつくられたと記されています。その後に「人が独りでいるのは良くない」ともう一人を与えてくれたのでした。人間と人間の関係にも煩わしさがあるとしても、助け合い、慰め合い、認め合う関係の創出こそが、神様の御心であることを示しています。また、「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」とも言われました。私達を友と呼んでくださるのです。イエス様は、私達を友として愛して下さり、十字架のうえで自分の命を捨ててくださったのです。

スピードを求められ、自己責任を問われることもある社会のなかで、子ども達一人一人に、必ず共に居てくれる存在がいることを、そして共に伴走してくれる存在がいることを伝え続けて歩んでいきたいと願います。

10月	乳児 (0,1,2歳児)	幼児 (3,4,5歳児)
月主題	やってみよう	心はずませて／共感する
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと一緒に祈り、賛美することを楽しむ。 ・好きなことや興味のあることに取り組む中で、繋がりをを感じる。 ・戸外で体を動かしながら、遊びを広げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも神様に守られ、力をもらっていることを感じる。 ・友だち同士考えを出し合って遊ぶ中、明日もやりたいという気持ちをもつ。 ・心地良い秋の自然の中、季節の変化を感じていく。